

エー・クラス編集部がインタビュー

## なぜ大変？神経の治療、根の治療

～歯医者さんからのワンポイントアドバイス～



Dr. 柏木

先日、奥歯がものすごく痛くなり、夜も眠れませんでした。翌日、歯医者に行ったら、「神経を取る」治療を受けました。その結果、痛みが無くなったのですが、「神経を取る」治療とは、一体どんな治療なのでしょう、教えてください。

**武蔵** 歯の中には神経があります。むし歯が進行すると、この神経に炎症が起こり、痛みが出るのです。その治療の1つとして、神経を取り除く方法があります。痛みを感じる神経がなくなったので、痛くなくなったのです。今回は、かなり進行したむし歯だったので、

**柏木** 神経がなくなると痛みは落ち着くのですが、同時に歯に栄養を与えている血管もなくなります。神経と血管がなくなると、歯そのものもろくなるため、土台や被せものを含めて、その後も適切な治療が必要となります。

**山岡** 神経を取り除く治療は、根の治療とも呼ばれます。例えば、以前に神経の治療を終えた後でも、細菌が入って根の先に炎症を起こすことがあります。その際には、神経はないのですが再び根のお掃除をすることがあります。

**柏木** 根の治療は、むし歯による神経の炎症の他にも、歯をぶつけて神経が死んでしまった時、歯周病が進んで神経に影響がでたときなどにも必要になることがあります。

**武蔵** 言葉の説明だけでは少し分かりづらいかもしれませんが、ページ下部の図1「神経の治療方法」も併せてご覧いただければと思います。

すごく手間暇がかかる作業ですね。治療のために何度も通院しなければいけないのも納得です。

**柏木** 人間の歯は奥歯ですと、4本もの神経をもっているものがあります。根の治療は非常に精密で複雑なものです。

**武蔵** 精密な分、時間も回数も多くなりますが、精密な治療だからこそ治療終了まで頑張っていた方がいいですね。

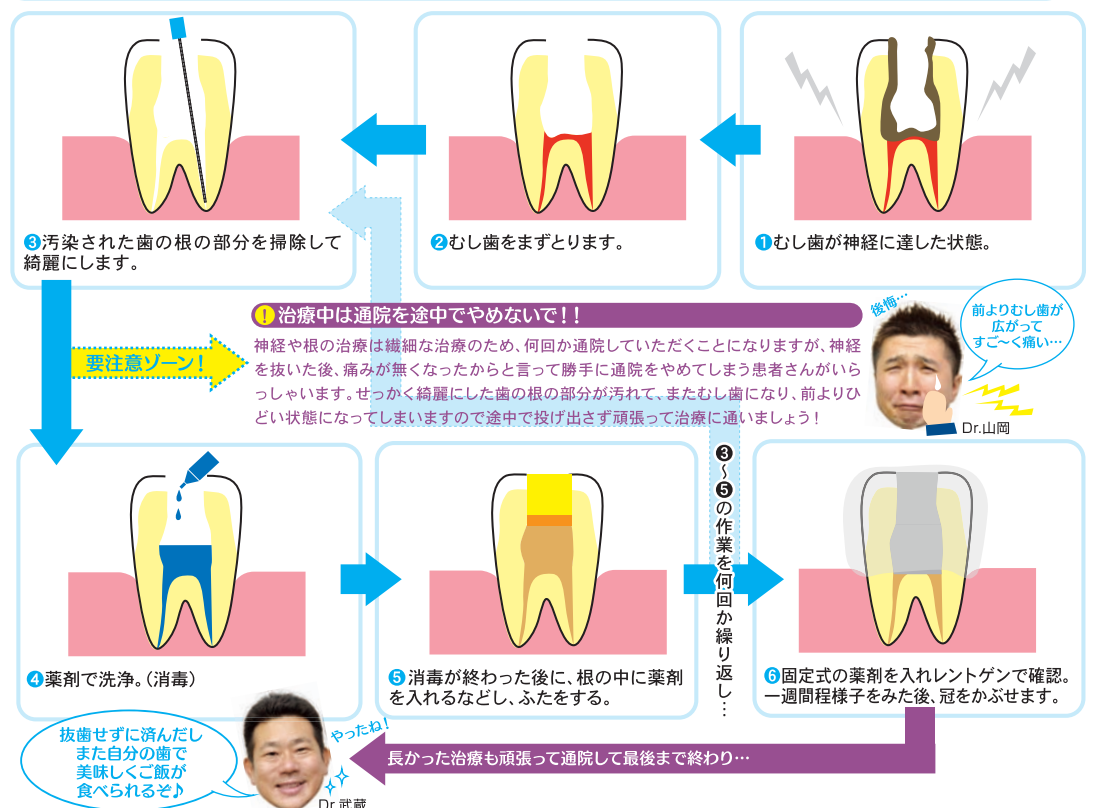
**山岡** とはいえ、我々歯科医師も歯を救うために全力を尽くしますが、炎症が重度の場合、残念ながら根の治療だけでは治らないことがあるのも事実です。

**武蔵** そのような場合は、歯ぐきを切開して根の先の病変を摘出したり、一度抜歯を行い病変を取り除いた後にもう一度戻す「再植」など、外科的な治療が必要になることもあります。但し、全ての方に適応となるわけではありません。

**山岡** 今回は、今までイメージしづらかった「神経の治療、根の治療」についてお話をさせていただきました。精密・繊細で時間もかかる治療を受ける前に、できるだけ神経の治療をしないで済む健康な歯を保っていた方がいいと願っています。予防や定期健診が最も重要だということを最後にお伝えしたいですね。

なるほど。神経と根の治療は想像していたよりも遥かに複雑なものだと分かりました。大切な歯を保つためにもまずは予防ですね。3人の先生方、本日はどうもありがとうございました。

(図1) 神経の治療方法



### Dental Doctors Profile

● 柏木 了 / 柏木歯科副院長。  
【柏木歯科】  
秋田市広面土手下41-1  
☎018-832-9162  
http://www.kashiwagi-dental.com/

● 山岡 薫 / CLOVER DENTAL 院長。  
【CLOVER DENTAL】  
秋田市千秋矢留町6-30  
トーカンマンション千秋鷹匠橋1F  
☎018-836-0968  
http://www.cloverdental.com/

● 武蔵 哲貞 / 医療法人 哲風会理事長。  
【むさしデンタルオフィス】  
秋田市保戸野通町4-8 1F  
☎018-853-8214  
http://www.musashi-dent.jp/  
【ちづ歯科クリニック】  
南秋田郡八郎潟町川崎字屋寝233-1  
☎018-875-2801  
http://www.chizu-shika.com/

